

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アスラボさばえ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 16日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	WISCや様々な検査結果をもとに個々の特性に応じた学習支援を行っていること。	WISCの結果や事業所で行っている簡易検査結果等を分析し課題を確認。さらに学習への困り感が強いお子様については読み書きチェックやアセスメントを行い、お子様が取り組み易い方法を一緒に考え支援を行っている。 また、合理的配慮が必要だと思われる場合には、早い段階から配慮を受けることが出来るようご家族や学校へのアプローチを行っている。	発達特性に合わせた支援の知識を深め、多様化するニーズに対応出来るよう職員の質の向上を図る。 合理的配慮に対する知識を深めると共に、学校や医療機関とのさらなる連携を図る。
2	自己理解を深め主体的に行動出来るように、子どもとの対話を重視していること。	対話を通じて自己理解を深める支援を行い、子ども自身がどうしたいのかを考え選択し、それを実行するための支援を行っている。 土曜日に行っている集団活動以外は、画一的なプログラムではなく、それぞれに必要な取り組みを子ども自身が計画したスケジュールに従って進めている。	今後も職員の質問力、コーチング力を高めるための研修参加や勉強会を開催していく。
3	将来を見据えた支援 負担が少なく生活するためのスキルとして、自分に合ったICTツールを見つけ使えるように支援を行っていること。	読むことや書く事に困難さがある場合、読み上げツールや音声入力等を使いこなすことで負担が下がることを伝え、それらを使いこなせるように支援を行っている。また、スケジュール管理やその他生活スキル向上に使えるツールの情報を提供することで、自分に合った方法で活用出来るように支援を行い、将来自立した生活を行うための準備をしている。	幅広い知識を獲得するために情報収集を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	粗大運動等の体を使った運動療育を行えないこと。	運動療育を行うと建物の構造上、下の店舗との間で騒音問題が発生するため。	・運動療育は土曜日のみ行う。また、感覚統合の運動を行う場合は出来る限り動きが激しくない活動にしている。
2			
3			